

申5号 2020年度年末手当等に関する申し入れ団体交渉実施！その2

11月12日、申5号の団体交渉で職場の現実を訴え、満額回答を要求しました！

私たちの努力に報いる回答を強く求める！

組合

コロナについて

会社



- コロナに感染しないように、生活面でも気をつけている。また、駅では感染リスクがある中、命がけで日々業務を行っている。そのことに対して、会社は報いるべきだ！
- 近くの職場でコロナ感染者が出た際に、断片的な情報しか入らず、社員にも動揺がみられた。速やかに情報を提供して欲しかった。

- 社員の皆さまの努力には感謝している。安定的な手当の支給も大切だと考えているが、当社はJR東日本の重要子会社でもあり、本体とのバランス等も考慮した上で支給額を検討する。
- 情報提供に関しては、個人情報の保護という観点もあり、速やかな情報提供とのバランスを考慮しながら行っていく。

職場の課題・問題点

- 空港第2ビル駅は、現状閑散としているが入国制限の緩和により訪日者が増えたとき、現時点の作業ダイヤでは不安がある。
- 大宮駅は、遠隔拡大により30駅に増える。精算や遺失物対応など業務量が増える一方、担務者が増えないので、「遠隔の担務には入りたくない」など不満の声が上がっている。

- お客さまの流動に合わせて、体制も含めて順応をしていきたい。
- 対応数の平均は把握していないので、分からない。対応する駅が増えるに準じて、対応する人数を決めている訳ではない。今後、丁寧に実態を見ていく。

生活費について

- 現在の福利厚生でも、家賃の負担は大きいので、今よりも補助を手厚くしてほしい。
- 車や持ち家のローン等、期末手当を返済に充てて生活維持している社員もおり、モチベーションを高めるためにも満額回答を求める。

- 現時点では妥当であると考えているが、今後、検討していきたい。
- しっかり社員の労に報いるスタンスは変えていない。一定の水準を安定的に支給していくことも大事だ。

会社は、増収増益だ！！満額回答するべきだ！！